

患者総合支援センターだより



HP: <https://www.city.nishiwaki.lg.jp/hospital>



乳腺外科 地域医療機関の先生方へ



市立西脇病院 乳腺外科 医監 みわのりこ 三輪教子

1 外来について

- (1) 乳腺外科初診：月～木の11時半までの受付です。
- (2) 専門外来：遺伝相談外来（遺伝性乳がんのカウンセリングとBRCA遺伝子検査）とセカンドオピニオン外来を、出来る限りご希望の診察日で行っています。

初診は問診表に始まり、視触診と画像検査で拝見します。その後特変がなければ、検診に戻っていただくようにお勧めしています。その後も当科をご希望の場合には、乳腺ドック（トモシンセシス併用！／4ページ5-(2)をご参照ください。）をご活用ください。

診療科	月	火	水	木	金
乳腺外科	三輪	三輪 〔ただし、遺伝相談 外来は予約のみ〕	三輪	三輪	

- 乳腺外科の遺伝相談外来について
基本的には、火曜日の予約制です。予約については乳腺外科へご相談ください。
- 乳腺外科のセカンドオピニオン外来について
予約制です。予約については乳腺外科へご相談ください。

◎対象疾患

乳腺疾患全般（乳がん、良性腫瘍、女性化乳房症、乳腺炎等）
乳がん検診年間約 800名実施

◎治療実績（2025年5月現在）

乳がん診療数は2013年度から急増し、2022年の乳がん手術件数は55例と過去最多となりました。

最近5年間の新規乳がん患者数は約 300人、乳がん検診要精査約 700人、転移・再発患者約 100人、男性乳がん・女性化乳房症など約50人。



2 遺伝相談外来について

女優のアンジェリーナ・ジョリーさんは、がんの家族歴から遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）が疑われ、BRCA遺伝子検査の結果、HBOCと診断され、生涯の乳がんや卵巣がんの発症リスクを下げるために、がんの発症前に予防的乳房切除術、後に予防的卵巣・卵管切除術を受けました。

乳がんの5-10%は遺伝性と言われており、その約半数がBRCA1/2遺伝子の変異が原因です。

日本では年間約9万人が新たに乳がんとして診断されるので、年間数千人がHBOCである可能性があることとなります。HBOCの場合、乳がんや卵巣がんのみでなく、膵がんや男性では前立腺がんのリスクが高くなります。従って、家族歴やその方の病歴等から、HBOCを疑って遺伝相談及び遺伝子検査をすることは、患者さん本人の治療に役立つのみならず、ご家族の健康管理にも大事な情報となります。日本のHBOC診療のトップである昭和大学病院から西脇病院に戻り、北播磨で初めてかつ唯一の遺伝相談外来を立ち上げました。年間約30人の患者さんが来院されています。BRCA遺伝子検査が可能です。また、JOHBOCの小冊子をもとに、遺伝性乳がんのご説明をしています。お気軽にご相談ください。



医師紹介

みわのりこ
乳腺外科 医監 三輪教子

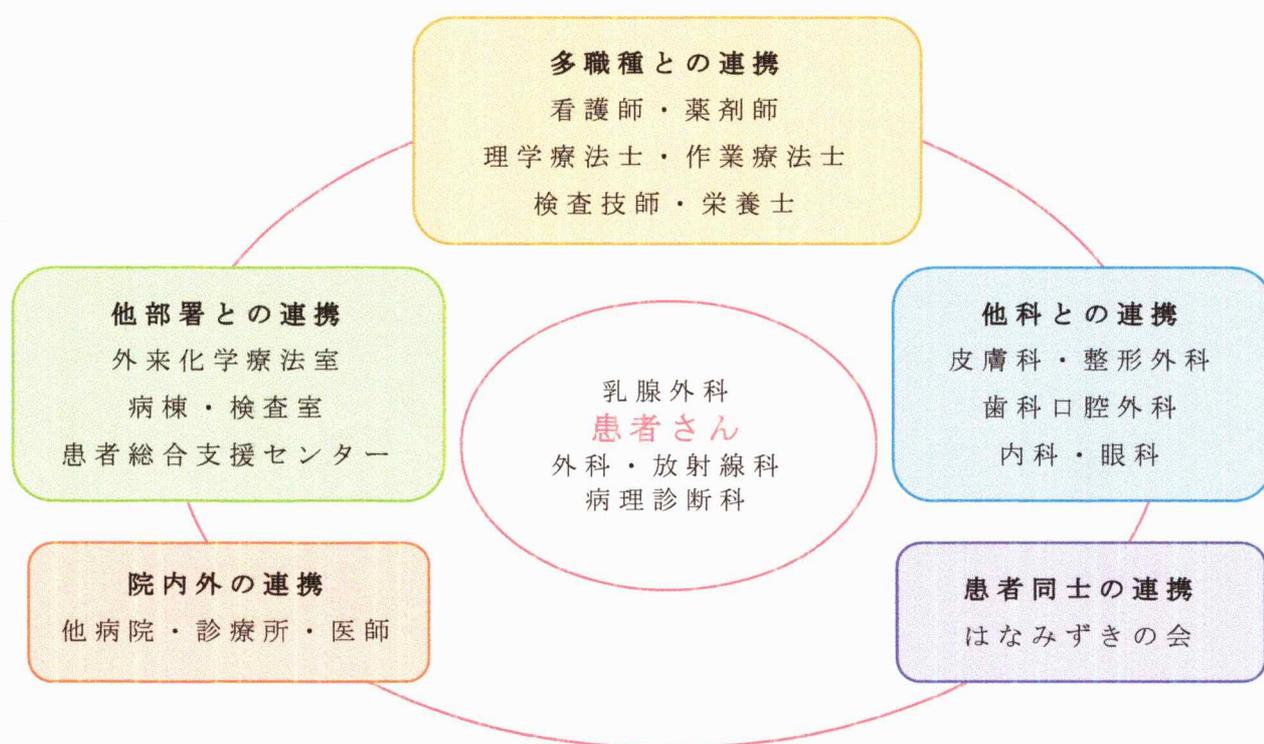
日本乳癌学会乳腺認定医・専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本内科学会認定内科医
検診マンモグラフィ読影認定医
検診乳房超音波読影認定医
「緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会」修了
遺伝性腫瘍コーディネータ



3 当院での乳がん治療成績がとて良い4つの理由

診療科長の三輪は、昭和大学乳癌外科の故中村清吾教授（元日本乳癌学会理事長、前日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構（JOHBOC）理事長かつ設立者）の下で研鑽を積み、

- (1) 乳腺認定医・専門医として日本乳癌学会の診療ガイドラインに則り乳腺診療実施
- (2) 日本乳癌学会認定施設として個々の患者さんに最善の治療を提供
- (3) 他科・多職種・他部署との連携で手術・薬物療法・術後のフォローを行うので治療の完遂率ほぼ 100%
- (4) がん診療連携拠点病院に準じる病院として、放射線治療専門医が常勤の放射線治療施設、常勤の病理医および常勤のがん化学療法看護認定看護師を配置しており、診断・治療・再発後の緩和ケアまでを高水準で提供



4 安心して患者さんをご紹介いただける2つの理由

- (1) 乳腺診療担当医・マンモグラフィやエコーの検査技師・理学療法士・作業療法士・病棟薬剤師・外来化学療法専門看護師がすべて女性です。
- (2) 全国に先駆けて15年以上前から、術後翌日から理学療法士・作業療法士によるリハビリテーションを施行+病棟看護師による教育でリンパ浮腫はほとんどなく、日常生活にスムーズに戻られています。



5 女性スタッフによる連携が良好な予後と質の高いQOLの維持に直結しています。

❁女性スタッフのみなさんからのひとことです。

(1) リハビリテーション部

肩関節の可動域練習、筋力練習などの上肢機能のリハビリに加え、術後のリンパ浮腫予防のために生活指導も行っています。

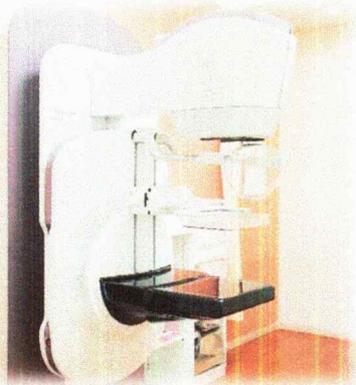
乳がん患者会はなみずきの会でも同様に生活指導やリハビリ体操指導を行っています。

(2) 放射線部

MRI、CT、マンモグラフィの撮影を担っています。

当院のマンモグラフィ装置は座位でも撮影可能であり、また3Dマンモグラフィ（トモシンセシス）を撮影でき、高濃度乳腺にも対応可能です。

読影資格を有する女性のマンモグラフィ撮影認定技師が丁寧で正確な撮影を行っています。下左図は当院のマンモグラフィ装置です。



(3) 外来化学療法室

家庭や社会で様々な役割を担う多くの乳がん患者さんが通院されており、がん化学療法看護認定看護師として安全な医療とお一人お一人に合わせたきめ細やかな看護が提供できるよう、チーム医療を推進しています。

上右図は患者さんへの配布パンフレットの一例です。兵庫県が行っている「がん患者アピアランスサポート事業」のための補助金申請書類も置いてあります（近隣では西脇市・多可町・丹波市などが該当）。

(4) 検査部（エコー検査）

日本超音波医学会認定超音波検査士（乳腺領域）を有する女性の臨床検査技師も在籍しています。

エラストグラフィを測定できるエコー機を使用しています。

手術前のマーキングを乳腺担当医とともにしています。





減量支援外来の紹介



糖尿病内科 医長 かしわぎ さやか
柏木 明香

令和7年度より減量支援外来を開設いたしました。

専門的な見地から食事療法・運動療法・行動変容支援などを軸とした包括的アプローチに加えて、必要に応じて肥満症治療剤を組み合わせ、安全で効果的な減量を支援し、肥満症に関連した様々な健康障害の改善を目指します。

<治療対象となる方>

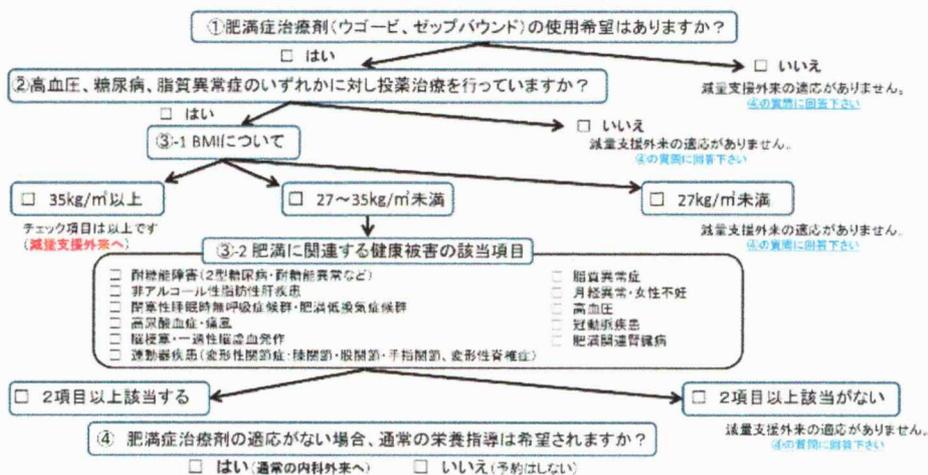
下記の1と2の両方を満たす方

- 1 高血圧・脂質異常症・2型糖尿病のいずれか1つ以上の診断がされており、かつ投薬中である。
- 2 BMI $\geq 35 \text{ kg/m}^2$
又は
BMI $\geq 27 \text{ kg/m}^2$ + 下記2つ以上の肥満症に関連する健康障害を有する。

●肥満症に関する健康障害

- ・耐糖能障害
(2型糖尿病・耐糖能異常など)
- ・脂質異常症
- ・高血圧
- ・高尿酸血症、痛風
- ・冠動脈疾患
- ・脳梗塞
- ・MASH
- ・月経異常、不妊
- ・OSAS、肥満低換気症候群
- ・運動器疾患
- ・肥満関連腎臓病

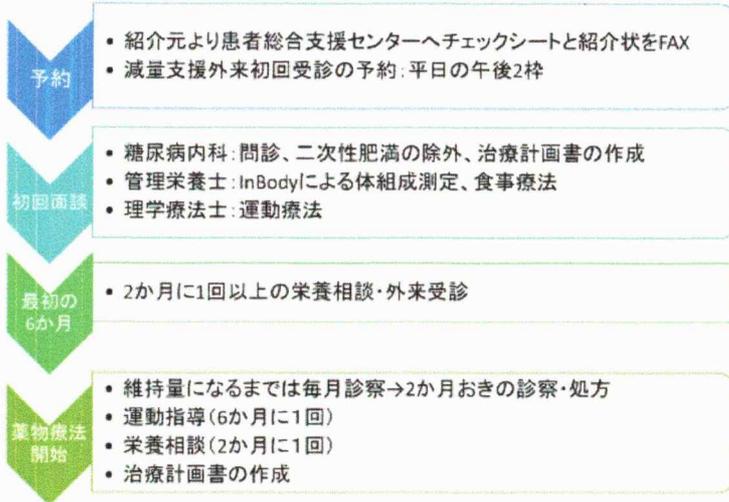
減量支援外来受診に関するチェックリスト



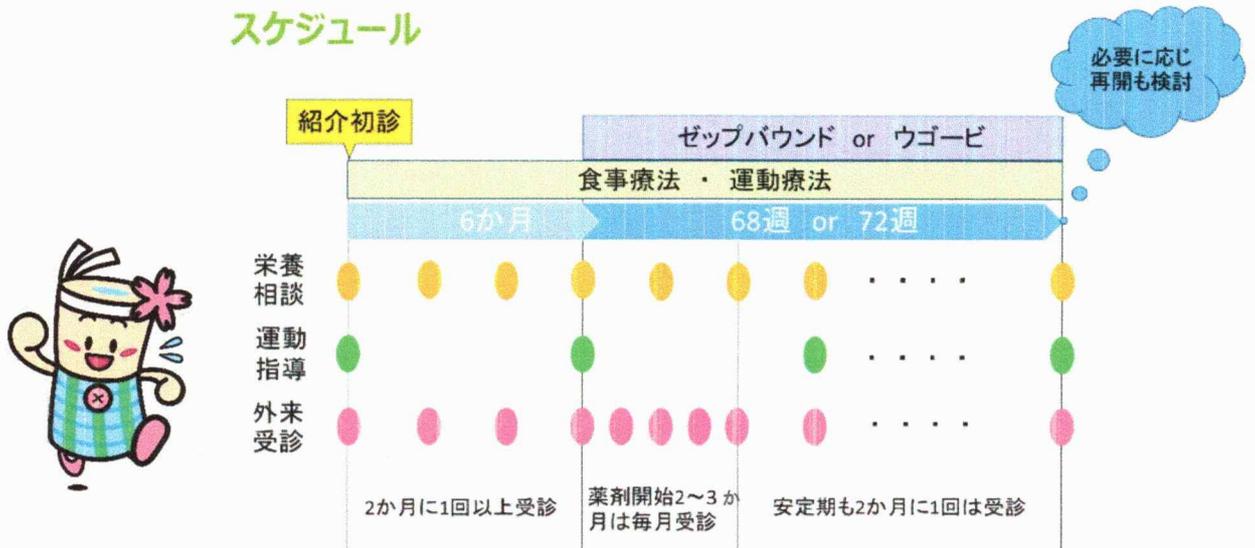
< 外来の流れ >

- 1 完全予約制であり、初回は現在通院中の医療機関からの申し込みが必要です。治療の適応を確認するためにチェックシート（5ページをご参照ください。）の記載をお願いしています。
 チェックシートを当科ホームページよりダウンロードし、ご記入の上紹介状と合わせて患者総合支援センターまでご予約ください。
 減量支援外来専用の紹介状をご用意しておりますが、任意の紹介状でも構いません。
- 2 まず最低6カ月の間、2か月に1回以上の栄養相談に加えて運動療法・行動変容支援を行います。
- 3 上記治療にて目標達成とならない場合、肥満症治療剤を使用することがありますがその投与期間には期限があります（約1年6カ月前後）。また、この間も引き続き2か月に1回以上の栄養相談と運動療法や行動変容支援を行います。

当院の診療の流れ



スケジュール



<開業医の先生方へ>

近年、肥満症治療は大きく進歩しています。新しい肥満症治療剤の処方には厳格な施設基準があり、当院は北播磨・丹波地区において院外からの患者さんの紹介を受け入れている数少ない病院のひとつです。

肥満症治療剤には制限も多く、薬にのみ頼ることなく食事・運動・行動療法が肥満症治療成功の大きなポイントとなります。当科では管理栄養士や理学療法士をはじめとした多職種と連携し、患者さんが無理なく続けられる減量をサポートしています。

かかりつけの患者さんで肥満症にお悩みの方がいらっしゃいましたら、ぜひ当科へご紹介いただけますと幸いです。



「ひだまりサロン」のご案内



～がん患者さんとご家族の集う場所～



がんについて一人で悩んでいませんか？
患者さん同士で話してみたい、
がん患者さんとご家族の皆さんで
悩みを相談してみたい…
気軽に語り合えるサロンです。

この思い聞いてほしい

仕事のこと、
お金のこと
どうしよう？

家族としてどう
接したらいい？

ほかの方は、
どうやって
乗り越えたの？

♡開催日 令和7年12月24日(水) 13:00～15:00(2時間程度)

♡場所 西脇病院 2階 講堂

十分な感染予防対策で行います

♡対象 がん患者さんとそのご家族

♡内容 交流会 と がん化学療法看護認定看護師 の ミニ講座

「がん薬物療法と副作用について ～日頃の疑問を聞いてみよう～」

♡申込方法 来院または電話・メールでお申し込みください。

(メールの方は、タイトルに「ひだまりサロン参加希望」と唯記の上 tiiki@nshp.jp へ。)

参加費不要 気軽にご参加ください

お問合せ：西脇病院 がん相談支援センター(担当:西畑、仁木)

☎直通0795-22-8270

(病院代表 0795-22-0111 からは内線 368)

